



(右から)相良、滝野

株主の皆さまには、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年度通期におきましては、9期連続の増収、6期連続の増益を達成し、過去最高の業績となりました。

2024年4月からは、3名の代表取締役による新しい経営体制がスタートいたしました。現在、欧米での自社製品の販売体制の構築に取り組んでおり、新体制のもとでグローバル化をより強力に推進してまいります。

当社は「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、積極的に研究開発投資を進め、アカデミ

アやバイオベンチャーと提携し、パイプラインの拡充に取り組んでおります。これからも一人でも多くの患者さんに革新的な医薬品をお届けするとともに、持続的な企業成長を遂げられるよう、引き続き挑戦を続けていく所存です。

皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

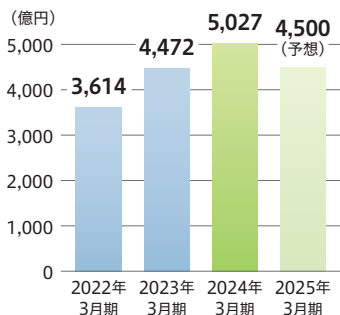
代表取締役会長CEO 相良 暁  
代表取締役社長COO 滝野 十一

# 営業の概況・予想（連結IFRS）／利益還元方針

## 財務ハイライト（連結）

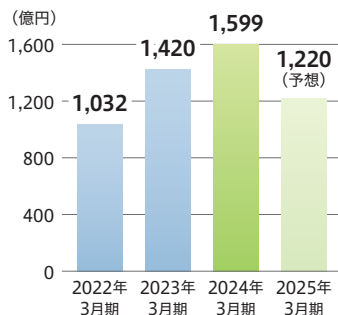
売上収益

**5,027**億円  
前期比 **12.4%増**



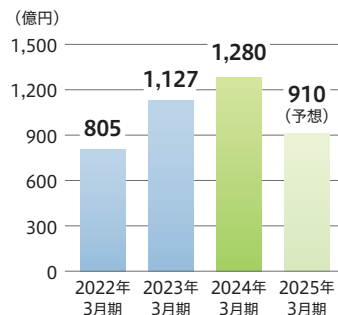
営業利益

**1,599**億円  
前期比 **12.7%増**



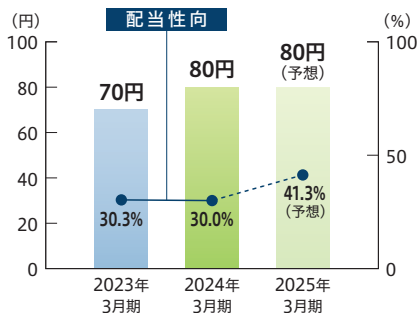
親会社の所有者に  
帰属する当期利益

**1,280**億円  
前期比 **13.5%増**



## 利益還元方針について

〈年間配当実績と次期予想〉



株主の皆さまへの当期の期末配当金につきましては、1株につき40円とさせていただきます。これにより、年間にお支払いする配当金は、中間配当40円と合わせて1株につき80円となります。次期の配当金につきましては、1株につき80円（中間40円、期末40円）を予定しています。

▶ 業績の詳細は、当社のHPをご覧ください。 <https://www.ono-pharma.com/ja/ir/library>



## オブジーボの売上について



抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は、競争環境が激化する一方、胃がん、食道がん、尿路上皮がんなどでの使用が拡大したことにより、前期比31億円（2.2%）増加の1,455億円となりました。

2024年度は販売数量は増加するものの薬価引き下げの影響を大きく受け、当期比205億円（14.1%）減少の1,250億円を予想しています。

## フォシーガなどその他の主要製品が堅調に推移

糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」、パーキンソン病治療剤「オンジェンティス錠」なども堅調に伸長しました。「フォシーガ錠」は、慢性腎臓病での使用が大幅に拡大したことにより、前期比196億円（34.7%）増加の761億円となりました。

## 主な製品の売上収益と次期売上収益の見込み

製品名	2023年度 売上収益(実績) (億円)	対前期 増減率	2024年度 売上収益(見込み) (億円)	対前期 増減率
オブジーボ点滴静注	1,455	2.2%	1,250	△14.1%
フォシーガ錠	761	34.7%	830	9.0%
オレンシア皮下注	258	4.3%	270	4.5%
グラクティブ錠	212	△5.9%	185	△12.7%
ベレキシブル錠	102	19.7%	100	△2.1%
カイクロリス点滴静注用	91	5.1%	95	3.9%
パーサビブ静注透析用	82	△2.1%	85	3.3%
オンジェンティス錠	63	26.8%	75	18.8%

# 開発品の主な進捗状況

## 開発品の主な進捗状況

(2024年4月22日現在)

★「オブジーボ」との併用試験

※がん領域の開発品において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しています。

### ■ がん領域の主な進捗状況

製品名/開発コード/一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
オブジーボ点滴静注	注射	肝細胞がん	■	■	■		日本、韓国
		卵巣がん	■	■	■		日本、韓国、台湾
		膀胱がん	■	■	■		日本、韓国、台湾
ピラフトビカプセル	カプセル	甲状腺がん	■	■	■		日本
メクトビ錠	錠	甲状腺がん	■	■	■		日本
ヤーボイ点滴静注液★	注射	胃がん	■	■	■		日本、韓国、台湾
		尿路上皮がん	■	■	■		日本、韓国、台湾
		肝細胞がん	■	■	■		日本、韓国
ONO-7913/マグロリマブ	注射	膵がん★	■				日本
		結腸・直腸がん★	■				日本
ONO-4482★/Relatlimab	注射	悪性黒色腫	■	■			日本
		肝細胞がん	■	■			日本、韓国、台湾

製品名／開発コード／一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
ONO-7475／Tamnorzatinib	錠	膵がん★	■				日本
		EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺がん	■				日本
ONO-4578	錠	胃がん★	■	■			日本、韓国、台湾
		結腸・直腸がん★	■				日本
		膵がん★	■				日本
		非小細胞肺がん★	■				日本
		ホルモン受容体陽性HER2陰性乳がん	■				日本
ONO-7427★	注射	固形がん	■	■			日本、米国、欧州
ONO-7914★	注射	固形がん	■				日本
ONO-4059	錠	中枢神経系原発リンパ腫	■	■			米国
ONO-4685	注射	T細胞リンパ腫	■				日本、米国
ONO-7018	錠	非ホジキンリンパ腫、慢性リンパ性白血病	■				米国
ONO-4538HSC	注射	固形がん	■				日本
ONO-8250	注射	HER2陽性固形がん	■				米国

# 開発品の主な進捗状況

## ■ がん領域以外の主な進捗状況

製品名／開発コード／一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
ペレキシブル錠／チラブルチニブ塩酸塩	錠	天疱瘡					日本
ONO-2017／Cenobamate	錠	てんかん強直間代発作					日本
		てんかん部分発作					日本
ONO-2910	錠	化学療法誘発末梢神経障害					日本
		糖尿病性多発神経障害					日本
							米国
ONO-2808	錠	多系統萎縮症					日本、米国
ONO-4685	注射	自己免疫疾患					日本、欧州
ONO-2020	錠	神経変性疾患					米国
ONO-1110	経口	疼痛					日本

## ライセンス活動

### ■ 韓国NEX-I社と「NXI-101」に関するライセンス契約を締結

2024年3月、韓国のNEX-I社とライセンス契約を締結しました。同社の「NXI-101」は、同社独自の標的探索プラットフォーム(ONCOKINE® プラットフォーム)により同定されたがん免疫療法抵抗性因子に対するファーストインクラスの抗体医薬で、がん免疫療法が効きにくいがん患者さんに対して、免疫力を高める効果が期待されます。

今回の提携で、当社は「NXI-101」の全世界における開発・商業化権を獲得し、がん治療における開発パイプラインの拡充につなげるとともに、革新的な新薬の創出を目指します。

## 提携活動

当社は世界の有望なアカデミアやバイオベンチャーなどとのオープンイノベーションを生命線と位置づけ、提携活動を積極的に進めています。

### ■ 提携契約実績(2023年度)

	提携先企業・大学(所在国)	提携内容
2023年8月	Twist社(米)	自己免疫疾患に対する新規抗体医薬品の創製に関する創薬提携契約を締結
9月	Adimab社(米)	がん領域における新規抗体医薬品の創製に関する創薬提携契約を締結
10月	Turbine社(英)	AIを活用したがん領域における治療標的の同定および検証に関する研究提携契約を締結
12月	EVQLV社(米)	AIによる抗体の設計技術を活用した抗体創製に関する創薬提携契約を締結
	UK Dementia Research Institute(英)	認知症領域における共同研究契約を締結
2024年2月	Shattuck社(米)	二価機能性融合タンパク質の創製に関する創薬提携・オプション契約を締結
	Numab社(スイス)	多重特異性抗体「NM49」に関するオプション・提携契約を締結
	InveniAI社(米)	AIを活用した新規治療標的の探索に関する研究契約を締結
	Epsilon Molecular Engineering社(日本)	VHH抗体を活用した医薬品候補の創製および開発に関する創薬提携契約を締結
3月	Harvard大学(米)	当社の重点研究領域を対象にした包括的研究提携契約を締結
	Sibylla Biotech社(伊)	神経疾患における新規医薬品候補化合物の創製に関する提携契約を締結
	Oxford大学(英)	革新的な医薬品の創出に向けた包括的な創薬提携契約を締結

## サステナビリティ

### ■ 「DJSI World」および「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に4年連続で選定

2023年12月、世界の代表的なESG (Environment、Social、Governance) 投資指標であるDow Jones Sustainability Indices (DJSI)において、全世界版である「DJSI World」およびアジア・太平洋版である「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に4年連続で選定さ

れました。DJSIは、米国のS&P Dow Jones社とスイスのRobecoSAM社が共同開発したサステナビリティ株式指数で、企業の経済・環境・社会面の3つの側面から企業活動を分析し、持続可能性(サステナビリティ)に優れた企業が構成銘柄として選定されます。

DJSI Worldには、各業界で上位10%に入った企業が選定され、グローバルの医薬品セクターでは当社を含めた上位6社が選定されました。

今後も当社は、革新的な医薬品の創製によって社会に貢献するとともに、持続可能な社会の実現に向けて取り組みます。

Member of

**Dow Jones  
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

### ■ CDP 2023「気候変動」、「水セキュリティ」の2分野で最高評価Aリストに選定

2024年2月、国際環境非営利団体であるCDPより、気候変動および水セキュリティに対する対策が評価され、CDP 2023「気候変動」および「水セキュリティ」の2分野において、最高評価に相当するAリストに選定されました。「気候変動」は、6年連続のAリスト選定、「水セキュリティ」は、3年連続のAリスト選定となります。



## 企業

### ■ グローバル人事制度の運用を開始

2023年10月、グローバル化推進における経営基盤の強化に向け、国内外の従業員を対象とした共通のグローバル人事制度の運用を開始しました。これまで日本、各現地法人(米国、英国、韓国、台湾)で独自の人事制度および人事システムで運用してきましたが、今後の更なる海外事業展開



の推進に向けて、地域を超えた当社グループ共通の人事評価や組織運営が必須であると判断し、新制度を構築するとともに、すべての人事データを一元管理できるよう人財情報システム「Workday HCM」を導入しました。当社の成長戦略においては、部門横断的に経営基盤を支える横断人財およびスキルと専門性を持つ専門人財が連携することで、持続的な成長を実現することができると考えています。新制度の運用によって、グローバルで通用する人的資本の拡充を推進していきます。

### ■ 「健康経営銘柄2024」に選定

2024年3月、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄2024」に選定されました。選定は、2020年以来4年ぶり2度目で、今回は健康経営度調査に参加した3,523社の中から、27業種53社が選定されました。

また、経済産業省と日本健康会議が共同で認定する「健康経営優良法人2024～ホワイト500～(大規模法人部門)」に6年連続で認定されました。当社は、企業の持続的な発展と社会への貢献には、社員とその家族の健康づくりと快適な職場環境の整備が重要と考えており、健康経営を成長戦略の基盤に位置づけています。



### ■ 2025年日本国際博覧会「テーマウィーク」にブロンズパートナーとして全体協賛

2024年3月、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の「テーマウィーク」に当社がブロンズパートナーとして全体協賛することを決定しました。

テーマウィークとは、世界中の国々が半年間にわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球規模の課題の解決に向けて世界の英知を持ち寄り、対話による解決策を探り、「いのち輝く未来社会」を世界と共に創造することを目的とした取り組みです。1週間ごとに異なる地球的課題をテーマに設定し、解決策を話し合う「対話プログラム」、具体的な行動のための「ビジネス交流」などが実施されます。



# 会社の概要

## 会社概要

(2024年3月31日現在)

社名	小野薬品工業株式会社
英文社名	ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
創業	享保2年(1717年)
設立	昭和22年(1947年)
資本金	17,358百万円
事業内容	医療用医薬品を主体とする各種医薬品の研究、開発、製造、仕入および販売
従業員数	3,853名(連結) 3,437名(単体)
株式数	発行可能株式総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 498,692,800株 (自己株式28,980,082株を含む)

## 主要な事業所

(2024年3月31日現在)

本社	〒541-8564 大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号 電話 06-6263-5670 〔登記簿上の本店所在地 大阪市中央区道修町二丁目1番5号〕
事業所	札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、京都、 大阪、高松、広島、福岡ほか全国主要都市
研究所等	水無瀬研究所(大阪府)、筑波研究所(茨城県)、 城東製品開発センター(大阪市)
工場	フジヤマ工場(静岡県)、山口工場(山口県)
海外子会社	オノ・ファーマ・ユーエスエー インク(米国マサチューセッツ州) オノ・ファーマ・ユーケー・リミテッド(英国ロンドン) 韓国小野薬品工業株式会社(韓国ソウル) 台湾小野薬品工業股份有限公司(台湾台北)

## 役員

(2024年6月20日現在)

代表取締役会長CEO	相良 暁
代表取締役社長COO	滝野 十一
代表取締役 副社長執行役員	辻中 聡浩
社外取締役	野村 雅男
社外取締役	奥野 明子
社外取締役	長榮 周作
常勤監査役	谷坂 裕信
常勤監査役	出光 清昭
社外監査役	菱山 泰男
社外監査役	田辺 彰子



本社ビル(大阪市中央区)

# 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日  
中間配当：9月30日

公告の方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
公告を掲載するホームページのアドレス  
<https://www.ono-pharma.com/ja>

上場証券取引所 東京証券取引所(証券コード4528)

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
および特別口座 三井住友信託銀行株式会社  
の口座管理機関

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
および 〒168-0063  
各種お問合せ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
フリーダイヤル 0120-782-031  
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

同 取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

## 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 「配当金領収証」で配当金を受領されている株主様へ

### 口座振込による配当金のお受け取り方法のご案内

配当金は、銀行等の口座振込(下記の3種類よりご選択)によって、安全かつ確実にお受け取りいただくことができます。「配当金領収証」で配当金をお受け取りの株主様は、配当金のお支払開始日から満3年を経過いたしますとお受け取りができなくなりますので、口座振込のご利用をぜひご検討ください。

口座振込による受領方法 (右記の3種類からお選びください)	株式数比例配分方式	登録配当金受領口座方式	個別銘柄指定方式
	ご所有のすべての株式等の配当金を証券会社の口座を通して受領する方式です。	ご所有のすべての株式等の配当金をご指定の1つの銀行等の預金口座で受領する方式です。	ご所有の銘柄ごとに指定した銀行等の預金口座で配当金を受領する方式です。

※少額投資非課税口座(NISA口座)を開設し、配当金について非課税の適用を受けるためには、株式数比例配分方式をご選択いただく必要があります。

## お問合せ先

証券会社の口座で株式を保有されている株主様 ▶ お取引の証券会社

それ以外の株主様 ▶ 三井住友信託銀行 証券代行部

フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00、土日休日を除く)

## 高等学校でのがん教育を推進

当社は、創薬で人々の健康に貢献するとともに、「未来を担う子どもたちの健康につながる教育への支援」も使命と考え、それらに資する活動に取り組んでいます。高等学校へのがん教育の推進はその活動の一つであり、大阪府や大阪対がん協会と連携しています。

2023年度は大阪府内の府立天王寺、府立夕陽丘、私立大阪青凌の三つの高等学校で、がんの出張授業を実施しました。がんサバイバーの方が闘病について語った動画の視聴のほか、大阪国際がんセンター総長で、大阪対がん協会会長の松浦成昭先生による講義があり、活発な質疑応答が行われました。

引き続き、子どもたちのがんの正しい知識を身につけてもらえる環境整備に、取り組んでまいります。



取り組みの詳細は当社ウェブサイトのサステナビリティページをご覧ください ▶



ホームページアドレス  
<https://www.ono-pharma.com/ja>